

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月4日
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所
コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,672	3.2	397	△10.6	444	△10.5	300	△16.7
2024年12月期第3四半期	2,589	8.7	444	△4.6	496	2.6	360	13.9

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 276百万円(△22.8%) 2024年12月期第3四半期 358百万円(△1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	45.58	45.50
2024年12月期第3四半期	54.37	54.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	4,677	3,216	66.5
2024年12月期	4,855	3,153	62.9

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 3,111百万円 2024年12月期 3,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

当社のビジネスの堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及び米国を軸としたグローバルIoT・生成AIビジネスや建設機械分野における自動運転ソフトウェアビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	6,751,000株	2024年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	174,595株	2024年12月期	105,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	6,593,861株	2024年12月期 3 Q	6,637,554株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、広がりゆく社会基盤としてのデジタル領域が浸透・拡大し、人々の情報収集、コミュニケーション、消費行動や企業の経済活動に大きな変化が生じつつあります。特に、AIは爆発的な進化を続けており、大規模言語モデルにおいて巨大な汎用モデルの開発が進展する一方、新たな技術も日々出現しております。今後、AIが進化し、あらゆるデジタル分野に浸透・連携することで、デジタル社会を支える基盤的要素となる可能性が高まっております。それに伴い、社会全体のイノベーション促進やデジタル化・DX推進を支える基盤としてのデジタルインフラの整備・維持の重要性も高まっております（出典：総務省「令和7年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、生成AI、IoT分野に加え、自動運転ソフトウェアにおける研究開発・ビジネスデザイン及び各種取り組み等を、国内外において着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されており、当社の現時点での主力事業であるシステムマネジメントは、世界的なインフレや為替・金融資本市場の変動、米国新政権の通商政策による貿易摩擦の影響、中国経済の停滞、不安定な国際情勢の影響を受けることなく、当第3四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、上場以来過去最高の月額課金売上のプラス成長に着地する潮流が続いております。なお、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現するための人的資本経営の強化にも注力し、先行投資は過去最高額となりました。

世界のIoT市場は、2030年には2兆7,200億ドルへ拡大すると予測（出典：Mordor Intelligence「IOT MARKET SIZE & SHARE ANALYSIS - GROWTH TRENDS & FORECASTS」）されており、当社データコントロールサービスのグローバルにおける需要も高まる中、当社は独自開発のIoTエンジン「NEQT0」やロボット型自動運用プラットフォーム「puzzle」を軸に、あらゆる機器やネットワークサービスを管理・制御する高度なソリューションを提供しております。視覚再生プロジェクト：NEW VISION技術（ソフトウェアによる細胞制御）においては、JIG-SAWと共同で取り組む当社フェロー富田浩史岩手大学農学部教授の研究室が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）のプログラム（D-Global）に採択されました。本採択により、今後、本格的な治験・臨床等に向けて、より具体的かつ大きな一歩を踏み出すとともに、視覚再生プロジェクト実現の加速が期待されます。さらに、JIG-SAW米国法人（JIG-SAW US, INC.）においては、NEQT0.aiによる様々なIoTデータの集約を実現するIoT-AIダッシュボードサービスを開始しています。すでに複数社の契約を獲得しただけでなく、情報・通信以外の様々な業態の企業において多岐にわたるトライアルも同時進行しています。また、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」では、取引総額が498,081千円（前年同期比16.9%増）拡大しました。今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資額は過去最高を更新し、前年同期と比較して約56,000千円増加となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,672,507千円（前年同期比3.2%増）、営業利益397,260千円（前年同期比10.6%減）、経常利益444,695千円（前年同期比10.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益300,563千円（前年同期比16.7%減）となりました。なお、新東京本社における本社移転費用影響の収束に伴い、各四半期連結累計期間における営業利益の前年比率は、第1四半期△33.8%、第2四半期△28.8%、第3四半期△10.6%となり、順調に改善されております。

当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、3,351,429千円（前連結会計年度末比41,219千円減）となりました。これは主に、現金及び預金が増減（前連結会計年度末比230,737千円減）した一方で、前払費用が増加（前連結会計年度末比104,986千円増）、売掛金が増加（前連結会計年度末比71,621千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、1,325,892千円（前連結会計年度末比136,875千円減）となりました。これは主に、敷金及び保証金が減少（前連結会計年度末比155,761千円減）、繰延税金資産が減少（前連結会計年度末比51,063千円減）した一

方で、有形固定資産が増加（前連結会計年度末比64,955千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,677,322千円となり、前連結会計年度末に比べ178,094千円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,140,599千円（前連結会計年度末比192,082千円減）となりました。これは主に、未払金が増加（前連結会計年度末比144,851千円減）、未払法人税等が増加（前連結会計年度末比128,643千円減）した一方で、買掛金が増加（前連結会計年度末比75,733千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、320,588千円（前連結会計年度末比48,589千円減）となりました。これは主に、長期借入金が減少（前連結会計年度末比74,997千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、1,461,188千円となり、前連結会計年度末に比べ240,671千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,216,133千円（前連結会計年度末比62,576千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比300,563千円増）した一方で、自己株式が増加（前連結会計年度末比225,853千円増）したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社のビジネスの堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、データコントロール事業及び米国を軸としたグローバルIoT・生成AIビジネスや建設機械分野における自動運転ソフトウェアビジネスの事業拡大や事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,992,757	1,762,019
売掛金	1,248,616	1,320,238
前払費用	146,969	251,956
その他	11,935	24,697
貸倒引当金	△7,629	△7,481
流動資産合計	3,392,649	3,351,429
固定資産		
有形固定資産	367,472	432,427
無形固定資産	42,658	44,452
投資その他の資産		
投資有価証券	211,773	208,649
敷金及び保証金	611,813	456,051
繰延税金資産	193,040	141,976
その他	36,550	42,874
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	1,052,637	849,012
固定資産合計	1,462,767	1,325,892
資産合計	4,855,417	4,677,322
負債の部		
流動負債		
買掛金	738,584	814,318
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払金	274,124	129,273
未払法人税等	133,544	4,901
その他	86,431	92,110
流動負債合計	1,332,681	1,140,599
固定負債		
長期借入金	350,006	275,009
その他	19,172	45,579
固定負債合計	369,178	320,588
負債合計	1,701,859	1,461,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	317,237
利益剰余金	2,751,625	3,052,189
自己株式	△483,322	△709,176
株主資本合計	2,929,991	3,011,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,992	26,067
為替換算調整勘定	91,217	74,359
その他の包括利益累計額合計	124,210	100,427
新株予約権	99,355	104,349
純資産合計	3,153,557	3,216,133
負債純資産合計	4,855,417	4,677,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,589,317	2,672,507
売上原価	773,582	802,646
売上総利益	1,815,735	1,869,860
販売費及び一般管理費	1,371,311	1,472,599
営業利益	444,423	397,260
営業外収益		
受取利息	187	1,591
受取配当金	5,452	4,315
受取手数料	40,338	40,330
投資有価証券売却益	3,235	3,172
その他	4,101	3,272
営業外収益合計	53,315	52,682
営業外費用		
支払利息	819	3,053
為替差損	—	1,128
自己株式取得費用	—	1,062
その他	0	3
営業外費用合計	819	5,248
経常利益	496,919	444,695
特別利益		
新株予約権戻入益	—	5,681
特別利益合計	—	5,681
税金等調整前四半期純利益	496,919	450,376
法人税、住民税及び事業税	201,276	96,360
法人税等調整額	△65,265	53,452
法人税等合計	136,010	149,813
四半期純利益	360,908	300,563
親会社株主に帰属する四半期純利益	360,908	300,563

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	360,908	300,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	411	△6,925
為替換算調整勘定	△3,029	△16,857
その他の包括利益合計	△2,617	△23,783
四半期包括利益	358,291	276,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	358,291	276,780
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。この結果、自己株式が231,508千円増加しました。

これらの結果等により、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が709,176千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	39,649千円	66,800千円